SONY

3-046-198-**01** (2)

コードレス留守番電話機増設用子機

取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ナンバー・ディスプレイ キャッチホン・ディスプレイ 対応

名のってる

SPP-HG600

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

●安全のための注意事項を守る
●定期的に点検する

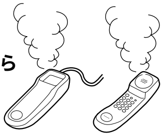
1年に1度は、電源アダプターや充電台のプラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないかなどを点検してください。

●故障したら使わない

動作がおかしくなったり、電源アダプターや充電台などが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

●万一、異常が起きたら

本機・充電台から変な音・においがしたら、煙が出たら



❶ **バッテリーをはずす/充電台なら、電源プラグをコンセントから抜く**
❷ **お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

バッテリーパックから液が漏れたら



- **すぐに火気から遠ざける**
- **目に入った場合は、きれいな水で洗った後、すぐに医師に相談する**
- **液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す**
- **お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険　この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告　この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意　この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号　**行為を禁止する記号**　**行為を指示する記号**



目次

⚠警告 火災 感電

下記の注意事項を守らないと
火災・感電により大けがの原因となります。

内部に水や異物を入れない

禁止

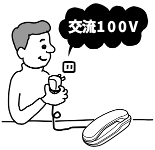
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



本機は国内専用です

強制

充電台は交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。



内部を開けない

分解禁止

故障・感電・火災の原因となります。 お客様が本機の分解や改造をすることは法律で禁止されています。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

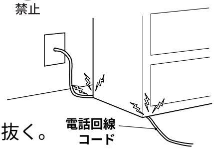


電源コードを傷つけない

禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
- 電源コードを金属などで柱などに固定しない。

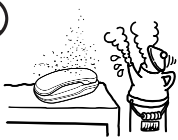


万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光の当たる場所には置かない

禁止

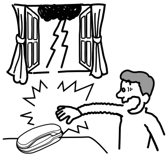
火災や感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、本機、電源コード、充電台に触れない

接触禁止

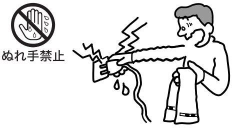
感電の原因となります。



⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

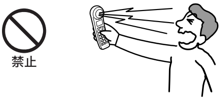
ぬれた手で電源プラグに触らない

感電の原因となることがあります。



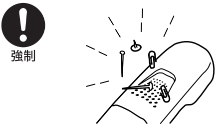
受話音量を上げすぎない

大きすぎる音量により、耳をいためることがあります。



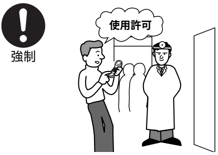
スピーカーに吸着物がないか確認してから使う

スピーカー部の磁石に画鋲やピンなどの金属が吸着し、思わぬけがをすることがあります。



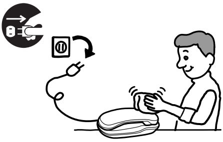
医療機器の近くで使用する場合は必ず使用許可を得る

本機の発する電磁波が、医療機器に影響を及ぼす場合があります。
医療機器の近くで本機をご使用になる場合は、必ず使用許可を得てください。



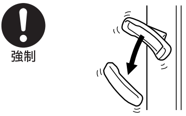
お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



壁にしっかり取り付ける

壁に取り付ける場合は、機器の重みにより落下しないよう堅固に取付・設置してください。けがの原因となることがあります。



電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

- 指定された充電台以外で充電しない。
- 火の中に入れない。電池の＋と－端子を金属などでショートさせたり、分解、加熱しない。コイン、ヘヤーピン、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 充電式電池に貼ってあるビニールをはがしたり、傷つけない。
- 水、雨水、海水などで濡れた電池を充電したり、使用しない。
- 電池内部の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗った後、ただちに医師の治療を受けてください。

⚠警告

- 指定された種類の電池を使用する。
- 電池内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こす恐れがありますので、ただちにきれいな水で洗い流してください。

⚠注意

- コネクターを正しい向きで差し込む。
- 電池を使い切ったとき、長期間使用しないときは、取り出しておく。
- 付属のバッテリーパックの充電温度範囲は5°C～35°Cです。この温度範囲以外で使用すると、充電池の液が漏れたり、発熱する原因となることがあります。
- ニカド電池はそのまま廃棄しないで下記の「リサイクルのお願い」に従ってください。

リサイクルのお願い

このマークはニカド電池のリサイクルマークです。

Ni-Cd

ニカド電池は、リサイクルできます。不要になったニカド電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：社団法人電池工業会 TEL:03-3434-0261

ホームページ:http://www.baj.or.jp

IDコードの登録

増設用子機をお使いになる前に、IDコードの登録が必要です。
IDコードの登録は、お買い上げ店にご依頼ください。（IDコードの登録設定は有償になります。）
その際、親機と、付属または増設したすべての子機が必要です。IDコードの登録を依頼するお買い上げ店に、ご持参ください。
ご持参いただくものは：
SPP-HG600本体、バッテリー、充電台、子機用ナンバーラベル、「販売店の皆様へ」、お使いの電話機の親機・電源アダプター。

- SPP-C300、C303、C350、C500、C550、C700、C750、JC50Yに増設する場合、付属の子機、バッテリー、充電台。既に子機を1台増設している場合は、さらにその子機、バッテリー、充電台。
- SPP-C300PG、C350PG、C500PG、C550PG、C700PG、G600PG、JC50YPGに増設する場合、付属の子機2台とそれぞれのバッテリー、充電台。

充電する

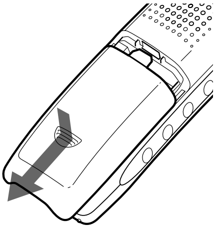
> ⚠危険　**バッテリーパックに巻かれているビニールを、はがしたり傷つけたりしないでください。**

初めてお使いになるときは、まず付属のバッテリーを約10時間充電してください。

充電のしかた

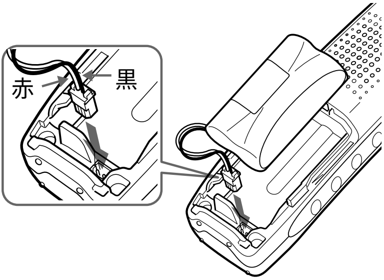
1 バッテリーを入れる。

①電池ぶたを開ける。



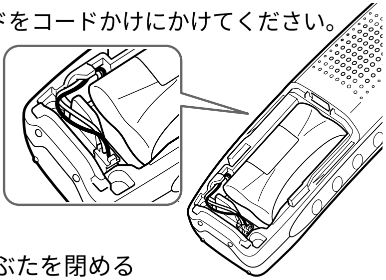
少し押しながらずらす。

②コネクターを差し込む。



電池入れの指示通りの向きで、最後まで確実に差し込みます(はずすときは、コネクターを持って引き抜く)。

③バッテリーを入れる。
コードをコードかけにかけてください。



④電池ぶたを閉める

ちょっと一言

本機の充電中に電話をかけるときは親機または他の子機でかけてください。

つづく→

2 電源コンセントにつないだ充電台に、本機を置く。

着信／充電ランプが点灯し、充電が始まります。10時間以上そのままにしておいてください。



ボタン面を手前に向けて置いてください。

充電中は充電台の電源コードを抜かないでください。本機をのせたまま充電台の電源コードをはずすと、本機が通話状態（通話ボタンのランプが点灯）になります。この場合は、充電台を電源コンセントにつないでください。

ご注意

- 充電中は充電台や本機が温かくなりますが、故障ではありません。
- 充電台の電源コードは束ねないでください。雑音の原因になります。

バッテリーについて

本機は充電台の上に常に置いていなくても使えますが、長時間充電台から離しておくとバッテリーが空になってしまうので、通話後は充電台に戻すことをおすすめします。バッテリーが常に充電された状態でお使いになれます。

使用可能時間について（充分に充電されたバッテリーの場合）

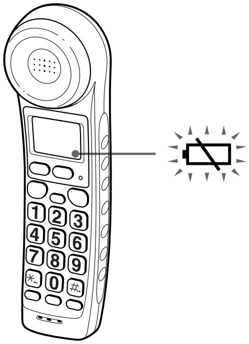
通話しているとき：連続約6時間
充電台に戻さずに電話を待っているとき：約240時間（約10日間）
長期間お使いにならないときは10時間以上充電してからバッテリーを抜いておいてください。

通話中にバッテリーが消耗したとき（表示窓に表示が点滅し、「ピッ・・・ピッ・・・」と鳴ったとき）は

次の方法で親機で通話できます。

1 本機の（保留）を押す。
2 本機を充電台に戻すか（切）を押す。
3 親機の受話器を取り上げる。

本機はその後充電台にのせておき、約10時間以上充電してください。

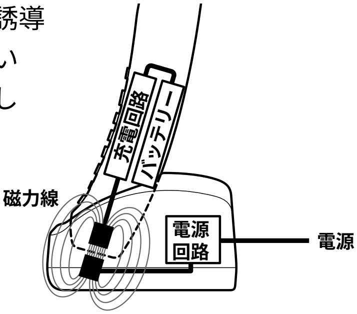


バッテリーの寿命について

- 本機のバッテリーは消耗品です。バッテリーの寿命は使いかたや使用頻度によりますが、1〜2年が目安です。
- 充分に充電しても使用できる時間が極端に短くなってきたら、バッテリーの寿命です。新しいバッテリー（別売りのバッテリーパックBP-T50）にお取り替えください。詳しくは、販売店かソニーサービス窓口にお問い合わせください。
- バッテリーを長持ちさせるには、通話が終わるたびに本機を充電台に戻して常に充電しておくことをおすすめします。

充電台について

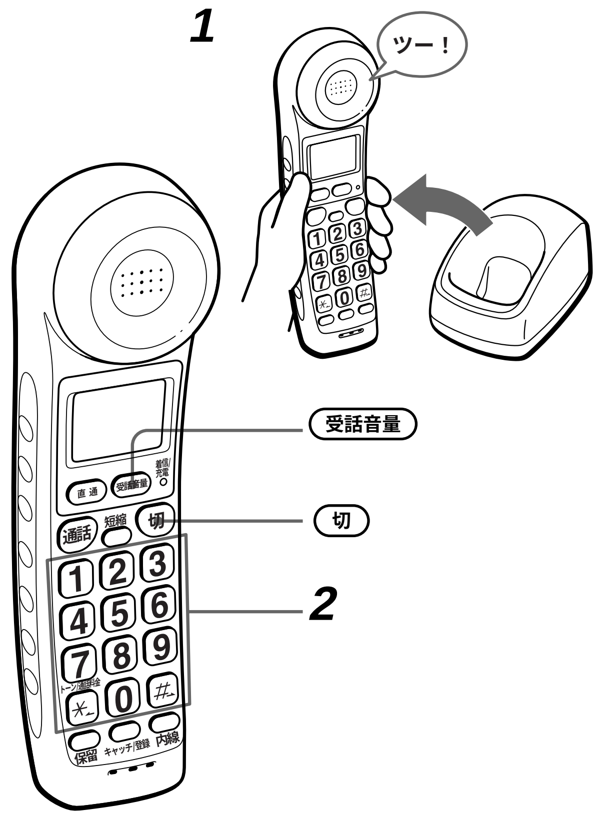
付属の充電台は、電磁誘導による、充電端子のない無接点充電方式を採用しています。



ご注意

- 金属（コイン、クリップなど）を充電台の上に置かないでください。充電台や金属が熱くなることがあり危険です。
- 磁気に弱い物（キャッシュカード、テレホンカード、フロッピーディスクなど）は近づけないでください。充電台から出ている磁力線により、それらが使えなくなってしまうことがあります。
- ラジオを近くに置かないでください。
ラジオから「ブーン」という雑音が聞こえることがあります。その場合は、ラジオの向きを変えるか、雑音のなくなる位置まで離してみてください。

電話をかける



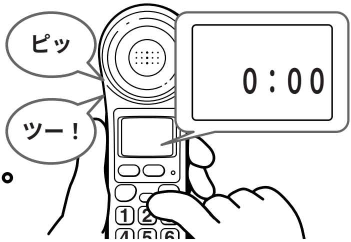
ちょっと一言

バッテリーを長持ちさせるためには、通話が終わるたびに本機を充電台に戻して常に充電しておくことをおすすめします。

ご注意

- 充電中に充電台の電源コードを抜かないでください。電源コードをはずすと、本機が通話状態（通話ボタンのランプが点灯）になります。
- (通話)を押したときに「ピーピー・・・」という音がした場合は、親機が使われているので、本機で通話できません。

1　充電台から取る。
充電台にのせていないときは（通話）を押す。



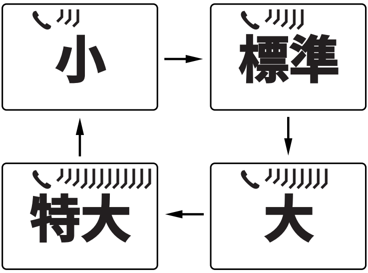
2　電話番号を押す。

通話が終わったら

充電台に戻すか、（切）を押します。

受話音量を調節するには（小←→特大の4段階）

相手の声が聞きにくいときなどに、調節します。
本機を持って通話中に（受話音量）を押します。
（受話音量）を押すごとに右記のように切り換わります。

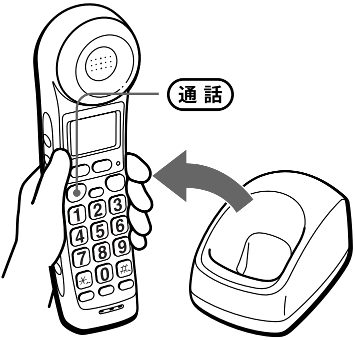


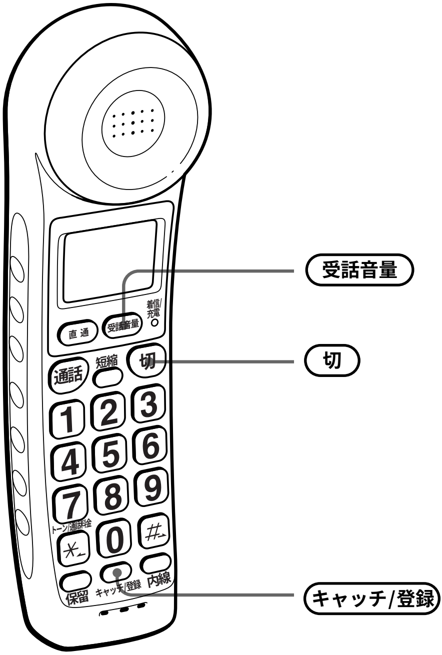
ちょっと一言
お買い上げ時は、受話音量は「標準」に設定されています。

ご注意
- 音量を大きくしすぎないようにご注意ください。大きくしすぎると、耳をいためる恐れがあります。
- 設定された音量は、設定を変更するまで変わりません。

電話を受ける

1





1 ベルが鳴ったら充電台から取る。充電台にのせていないときはベルが鳴ったら(通話)を押す。

通話が終わったら

充電台に戻すか、(切)を押します。



受話音量を調節するには

相手の声が聞きにくいときなどに、調節します。
本機を持って通話中に(受話音量)を押します。

キャッチホンが入ったときは

(キャッチ/登録)を押します。
もとの通話に戻るにはもう一度(キャッチ/登録)を押します。

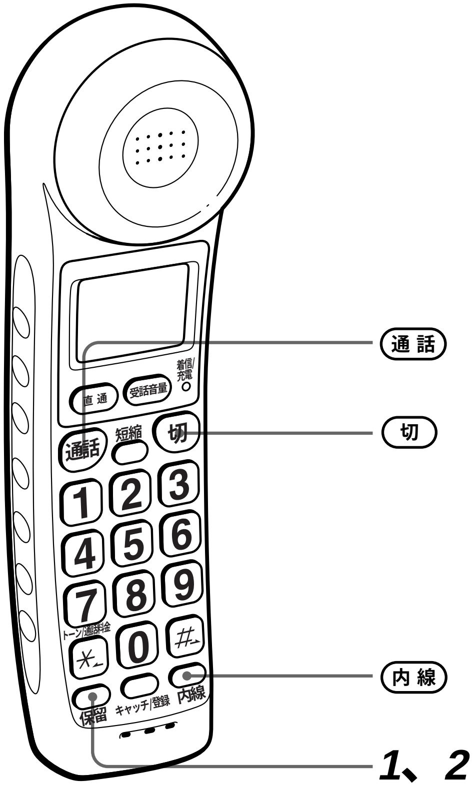
ちょっと一言

バッテリーを長持ちさせるためには、通話が終わるたびに本機を充電台に戻して常に充電しておくことをおすすめします。

ご注意

- 本機のベルは親機より1、2回遅れて鳴る場合があります。本機のベルが鳴り始めてから本機を取ってください。
- 充電中に充電台の電源コードを抜かないでください。電源コードをはずすと、通話状態（通話ボタンのランプが点灯）になります。

通話の相手を待たせる（保留）



相手に待ってもらう間、メロディーが流れます。

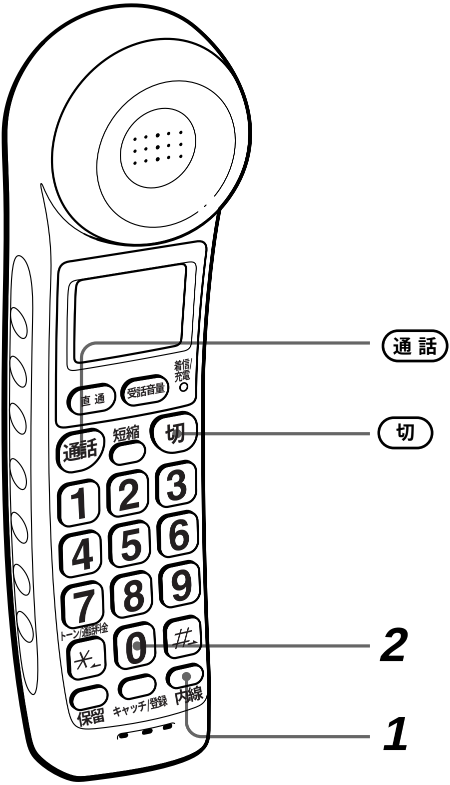
1 通話中に（保留）を押す。
通話ボタンが点滅します。

2 通話に戻るにはもう一度（保留）または（通話）を押す。

ちょっと一言

- 上の手順1で保留にしたあと、充電台に戻すか、（切）を押しても電話は切れません。通話に戻るには充電台から取るか（通話）を押します。
- 保留にしたあと、（内線）を使って本機から親機へ取り次ぐことができます。また本機から別の子機へ取り次ぐこともできます。詳しくは親機の取扱説明書をご覧ください。

電話を取り次ぐ



ちょっと一言

- (保留)を押して通話を保留にしてからでも、同じように取り次げます。
- 本機で(内線)を押したあと、充電台に戻すか、(切)を押すと、呼び出しは中止され、親機のスピーカーから保留メロディーが流れます。親機、本機どちらかが出れば外からの電話に出られます。
- 手順4のあとで親機が内線通話を切ると、本機で再び外からの電話に出られます。

子機から親機へ取り次ぐ

本機で取った電話を親機にまわすとき、本機と親機の間で話(内線通話)をしてから電話を取り次ぐことができます。

1 通話中に(内線)を押す。

とりつぎ先?
012

2 (0)を押す。

親機を
呼び出し

電話は保留になり、相手にはメロディーが聞こえます。

3 親機のベルが鳴ったら受話器を取る。

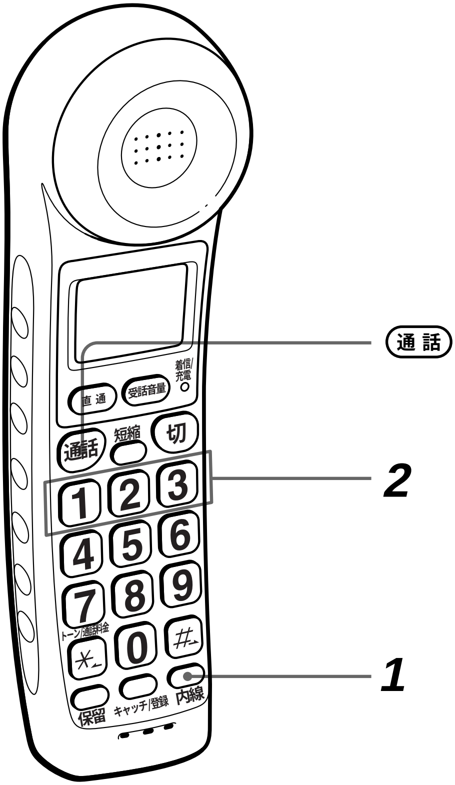
4 本機から親機へ電話をまわすことを伝える。

5 本機を充電台に戻すか、(切)を押す。

親機で外からの電話に出られます。

親機が出ないときは

もう一度(内線)または(通話)を押すと、もとの通話に戻れます。



ちょっと一言

- （保留）を押して通話を保留にしてからでも、同じように取り次げます。
- 手順1のあとで、充電台に戻すか、（切）を押すと、呼び出しは中止され、親機のスピーカーから保留メロディーが流れます。親機、いずれかの子機が出れば外からの電話に出られます。

本機から他の子機へ取り次ぐ

子機で取った電話を他の子機に取り次ぐことができます。ただし、内線通話はできません。呼び出された子機を取ると、すぐに外からの電話につながります。

1 通話中に（内線）を押す。

とりつぎ先？
012

2 子機番号（（1）か（2）か（3））を押す。
電話は保留になり、相手にはメロディーが聞こえます。

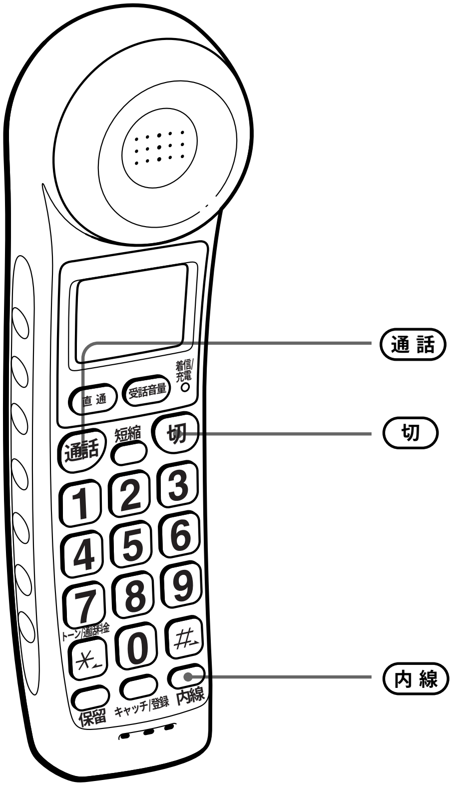
3 ベルが鳴ったら、取り次ぎ先の子機を充電台から取る。充電台にのせていないときは、（通話）を押す。
取り次がれた子機で外からの電話に出られます。

4 本機を充電台に戻す。

他の子機が出ないときは

もう一度（内線）または（通話）を押すと、もとの通話に戻れます。

本機から親機にかける（内線通話）



1 充電台から取り、（内線）を押す。

親機を
呼び出し

親機のベルが鳴ります。

2 親機：受話器を取る。

本機と親機で通話できます。

3 通話が終わったら、
充電台に戻すか、（切）を押す。

途中で内線の呼び出しを中止するには

もう一度（内線）を押す。

内線通話中に電話がかかってきたときは

内線通話は中止されます。親機または本機で電話を受けてください。
本機のベルが鳴ってから（通話）を押します。

ちょっと一言

- 内線通話中に電話がかかってくると、本機では、ベル音の前に「ピー、ピー、ピー、ピー」という音が鳴ります。
- 内線通話中に電話がかかってきたときは、本機で外からの電話を受けたときも、親機の受話器は戻しておいてください。

ナンバー・ディスプレイを使う

「ナンバー・ディスプレイ」サービスとは

電話に出る前にかけてきた相手の電話番号を専用の電話機などの表示窓に表示するNTTのサービスです。

「ナンバー・ディスプレイ」サービスを利用するには

NTTの「ナンバー・ディスプレイ」サービス（有料）に加入してください。詳しくは親機の取扱説明書をご覧ください。

ナンバー・ディスプレイをお使いのときの表示

相手の電話番号が、短縮に登録してある電話番号と一致しない場合	0312345678
相手の電話番号が短縮に登録してある電話番号と一致した場合	0312345678（点滅）
公衆電話からかけてきた場合	公衆電話
番号通知できない地域や回線からかけてきた場合 携帯やPHSで番号表示をOFFしている場合*	表示圏外

「184」をつけてかけてきた場合 「通常非通知(回線ごと非通知)」の電話からかけてきた場合 携帯やPHSで番号表示をOFFしている場合*	非通知
本機がナンバー・ディスプレイ未加入／手続き中、または本機のナンバー・ディスプレイ「切」の場合	着信
番号データの受信に失敗した場合	C74 着信

＊携帯、PHSは、「非通知」または「表示圏外」と表示される場合があります。詳しくは、携帯、PHSの契約会社にお問い合わせください。

着信音鳴り分け機能を使う

ナンバー・ディスプレイと、短縮(☞26ページ)をあわせて使うとこの機能が使えます。短縮番号に登録してある相手から電話がかかってきたときに、ベル音が変わり、親しい人からであることが分かります。



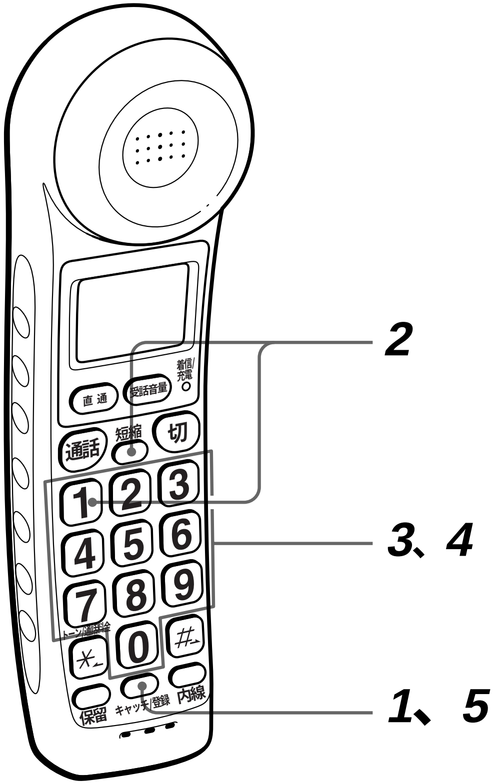
短縮番号に登録してある相手から電話がかかってきたとき



ご注意

短縮が市外局番から登録されていないと、鳴り分け機能は使えません（☞27ページ）。

短縮番号に電話番号を登録する



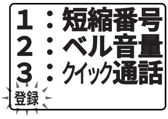
ちょっと一言

- 電話番号の前に「184」や「186」をつけて登録することもできます。
- 市内の相手に市外局番からダイヤルしても、同じ料金でかかります。

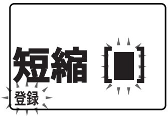
つづく→

よくかける電話番号を登録しておくと、(短縮)と(0)〜(9)のダイヤルボタンで簡単に検索して、かけることができます。

1 通話を切った状態で、(キャッチ/登録)を押す。

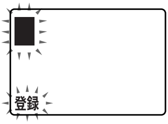


2 (1)、または(短縮)を押す。



3 (0)〜(9)で登録したい短縮番号を押す。

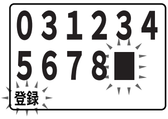
初めて登録する場合



登録済みの場合



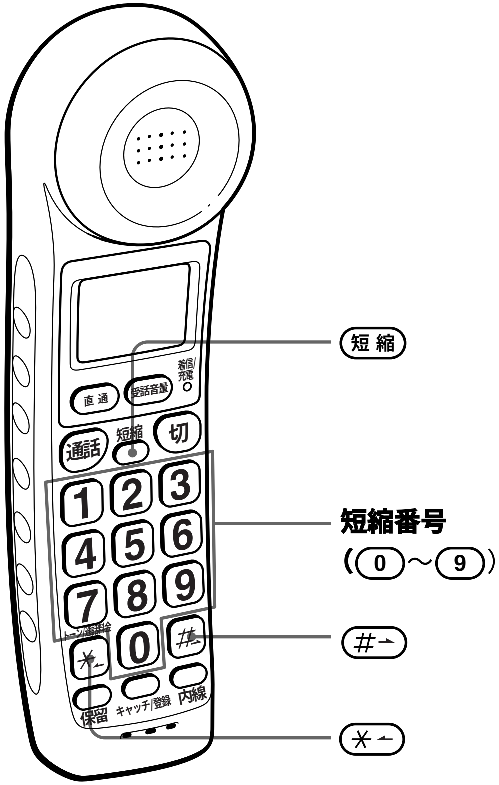
4 ダイヤルボタンを使って、登録したい電話番号を市外局番から押す（20桁以内）。



5 (キャッチ/登録)を押す。

確認のために、「ピー」と鳴ります。

短縮番号に電話番号を登録する（つづき）

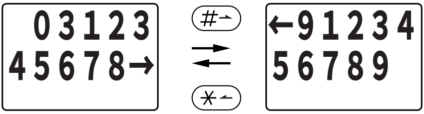


登録した番号を確認するには

1 通話を切った状態で、(短縮)を押す。

2 短縮番号の(0)〜(9)を押す。
呼び出し音声（☞38ページ）が録音されている場合は、録音された音声が再生されます。

登録した電話番号が13桁以上の場合は、始めの10桁しか表示されません。(#)を押すと表示は切り換わり、(*)で戻ります。



電話番号を変更するには

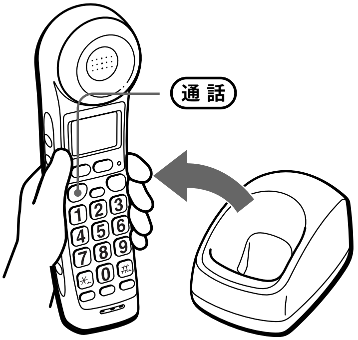
27ページの手順1〜5をもう一度行ってください。電話番号が変更されます。

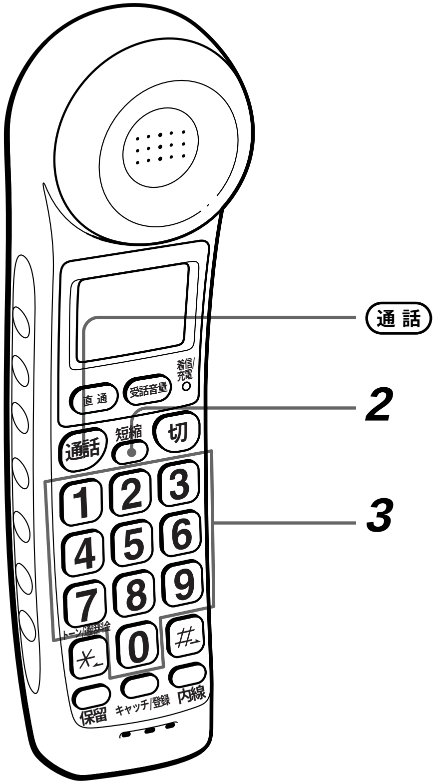
登録した短縮番号を消去するには

新しい番号を登録します。元の番号は消えます。新しい番号を登録しないで番号を消すことはできません。

短縮を使って電話をかける

1





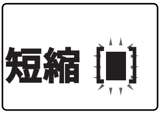
1 充電台から取る。
充電台にのせていないときは[通話]を押す。

2 [短縮]を押す。

3 かけたい短縮番号[0]〜[9]を押す。

電話番号を確かめてからかけるには

1 通話を切った状態で、[短縮]を押す。



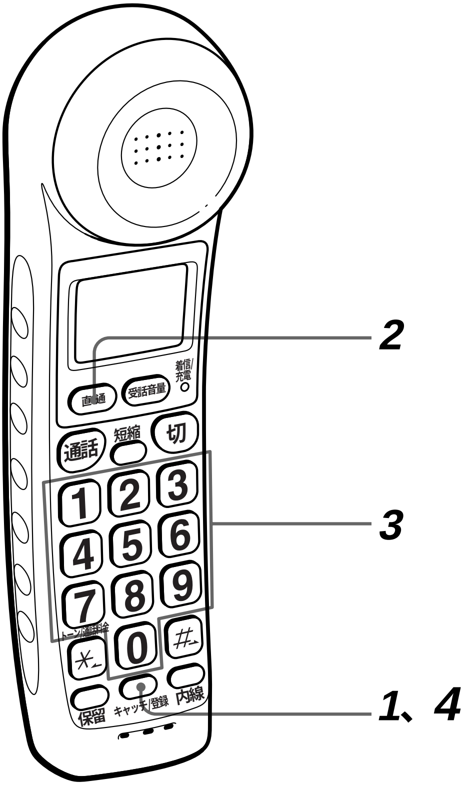
2 かけたい短縮番号[0]〜[9]を押す。

3 電話番号が表示されている間に[通話]を押す。

ご注意

「ピピピピピ」と鳴ったときは押したボタンには電話番号が登録されていません。

直通ボタンを使う



ちょっと一言

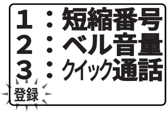
登録した番号を消去するには、新しい番号を登録します。もとの番号は消えます。新しい番号を登録しないで番号を消すことはできません。

つづく→

電話番号を登録しておくと、直通を押すだけで、簡単に電話をかけることができます。一番よくかける電話番号を登録しておくと便利です。
SPP-G600PG、SPP-C303に増設されたかたは、自分の名前を録音(☞35ページ)しておくと、相手が電話に出たときに、その音声が相手に聞こえます。

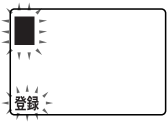
直通ボタンに電話番号を登録する

1 通話を切った状態で、キャッチ/登録を押す。



2 直通を押す。

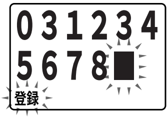
初めて登録する場合



登録済みの場合



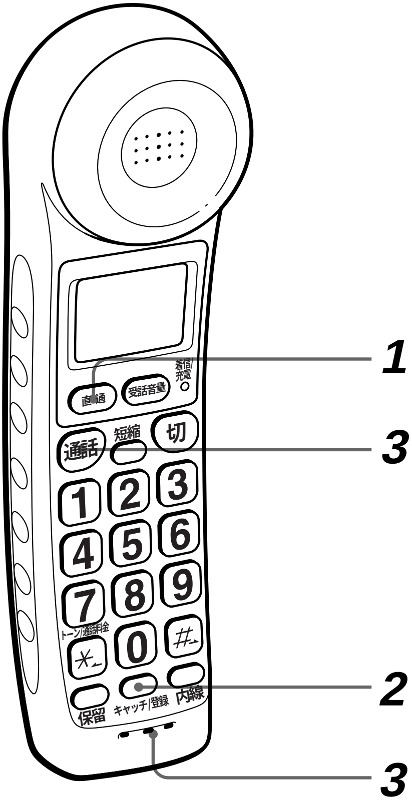
3 ダイヤルボタンを使って、登録したい電話番号を市外局番から押す(20桁以内)。



4 キャッチ/登録を押す。
確認のために、「ピー」と鳴ります。

登録した番号を確認するには

通話を切った状態で、直通を押します。音声が録音(☞35ページ)されている場合は、録音された音声が再生されます。

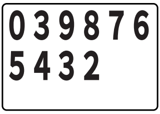

1
3
2
3
着信/充電
直通
受話音量
短縮
切
通話
1
2
3
4
5
6
7
8
9
トーン/通話料金
0
保留
キャッチ/登録
内線

つづく→

直通ボタンに自分の名前を録音する

SPP-G600PG、SPP-C303に本機を増設されたかたは、自分の名前を録音しておくと、相手が電話に出たときにその音声が聞こえ、相手に誰からの電話かわかります。

1 通話を切った状態で、（直通）を押す。



番号が表示されます。音声が録音されている場合は、録音された音声が再生されます。

2 （キャッチ/登録）を押す。

- 音声が録音されていない場合



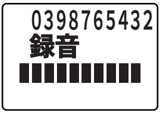
通話ボタンが点滅します。

- 音声が録音済みの場合（音声を再生しながら、バー表示が4秒間で左から右へ1つずつ消灯します。再生終了後、上の表示になります。）



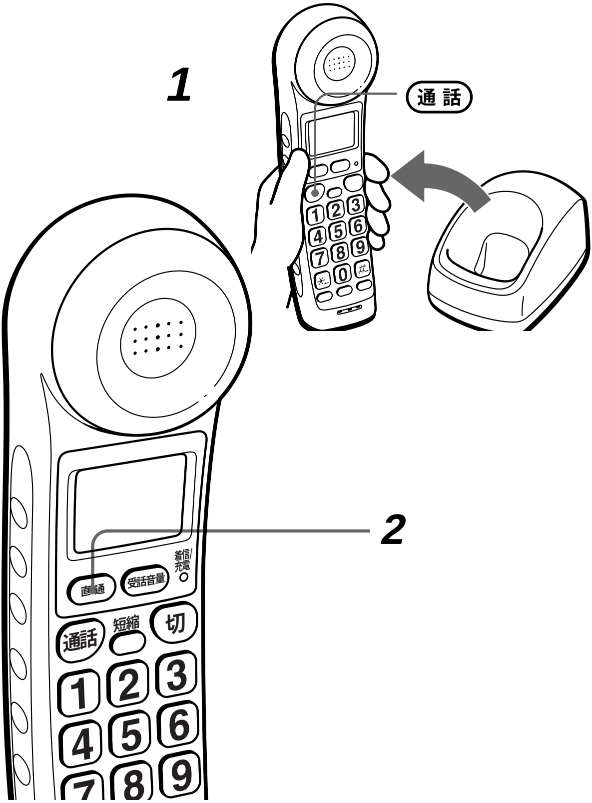
3 （通話）を押し、「ピー」と鳴ったらマイクに向かって音声を話す。

「ピー」と鳴ると、バー表示が4秒間左から右へ1つずつ消灯します。



「ピー」と鳴り、電話番号が点灯し、録音した音声が聞こえます。録音内容を確認してください。

直通ボタンを使う（つづき）



ご注意

以下のようなときは、録音した音声が相手に再生されない場合があります。

- (直通)に登録した電話番号が、フリーダイヤル、クレジット、オペレーター通話などの場合。
- NTT以外の通信事業者との通話となる場合。
- 音声が再生される前に、誤って他のボタンを押した場合。

録音した音声を確認するには

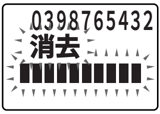
通話を切った状態で、（直通）を押します。録音された音声が再生されます。

録音をやり直すには

35ページの手順1〜3をもう一度行ってください。
音声は新しく録音されたものに変更されます。

録音した音声を消去するには

1 録音手順2のあとで、録音した音声を再生中に（キャッチ/登録）を押ます。



2 20秒以内にもう一度（キャッチ/登録）を押す。
確認のために、「ピー」と鳴ります。

直通ボタンを押して電話をかける

1 充電台から取る。

充電台にのせていないときは（通 話）を押します。

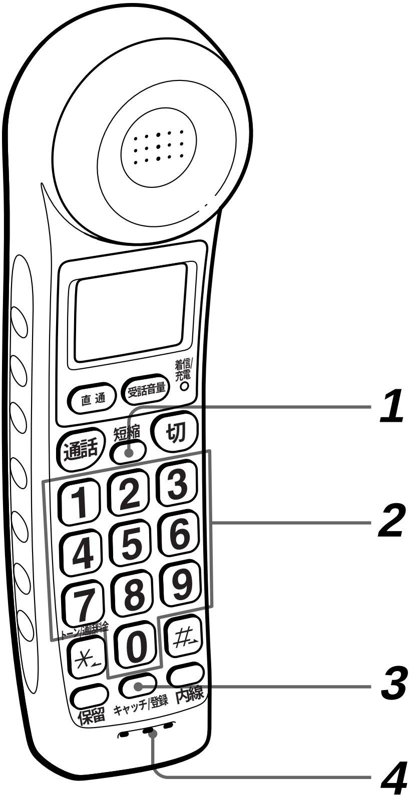
2 （直通）を押す。

相手が電話に出ると

録音した音声（☞35ページ）が再生され、相手に誰からかかってきた電話かわかります。続けて通常の通話ができます。

ちょっと一言
通話を切った状態で、（直通）を押してから、（通 話）を押してかけることもできます。

呼び出し音声を録音する

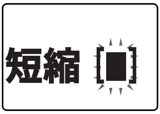


ご注意

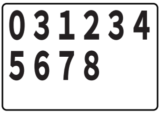
- 呼び出し音声を録音すると、留守番電話の用件録音時間がやや短くなります。
- 親機の電話帳と本機の短縮番号に、同じ番号が登録されていると、親機で登録した音声が優先されます。
- 呼び出し音声は、聞き取りやすいようにはっきりと話してください。
- 手順4で20秒以内に（通話）を押さないと、録音できません。手順1からやり直してください。
- 各手順は20秒以上かけないでください。

ご自分で呼び出し音声を録音することができます(短縮番号に登録された相手のみ)。親機の表示窓に「名のってる」表示が点灯していることを確認してください。短縮番号については26ページをご覧ください。

1　通話を切った状態で、(短縮)を押す。



2　録音したい短縮番号(0)〜(9)を押す。



番号が表示されます。呼び出し音声が録音されている場合は、録音された音声が再生されます。

3　(キャッチ/登録)を押す。

- 呼び出し音声が録音されていない場合



通話ボタンが点滅します。

- 呼び出し音声が録音済みの場合

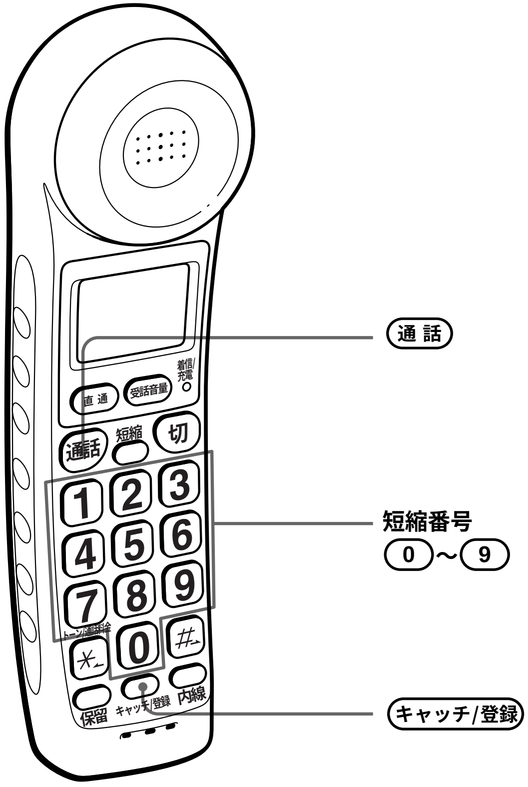


(呼び出し音声を再生しながら、バー表示が2秒間で左から右へ1つずつ消灯します。再生終了後、上の表示になります。)

4　(通話)を押して、「ピー」と鳴ったら本機のマイクに向かって呼び出し音声を話す。



「ピー」と鳴ると、バー表示が2秒間で左から右へ1つずつ消灯します。「ピー」と鳴り、電話番号が点灯し、録音した呼び出し音声が聞こえます。
録音内容を確認してください。


通 話
短縮番号
0～9
キャッチ/登録

録音した呼び出し音声を確認するには

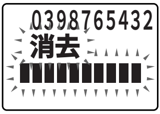
通話を切った状態で、短縮を押し、確認したい短縮番号0～9を押して、確認したい電話番号を表示させます。
録音した呼び出し音声が再生されます。

録音をやり直すには

39ページの手順1～4をもう一度行ってください。
呼び出し音声は新しく録音されたものに変更されます。

録音した呼び出し音声を消去するには

1 録音手順3のあとで、録音した呼び出し音声を再生中にキャッチ/登録を押す。



2 20秒以内にもう一度キャッチ/登録を押す。
確認のために、「ピー」と鳴ります。

キャッチホン・ディスプレイを受ける



1、2

NTTの「キャッチホン・ディスプレイ」(有料)に加入してください。詳しくは親機の取扱説明書をご覧ください。

キャッチホンの呼び出し音に続き、「ピッ」という割り込み音がしたあと、約1秒間の無音状態になります。そのあと、あとからかかってきた電話の電話番号などが表示されます。表示は「ナンバー・ディスプレイ」の表示と同じです(☞24、25**ページ****)。**

1 **(キャッチ/登録)を押す。**
あとからかかってきた電話に出られます。

2 **もとの通話に戻るには、もう1度(キャッチ/登録)を押す。**

ちょっと一言
- 通話中にキャッチホン・ディスプレイを受けて相手の番号が表示されてから、約20秒後に通話時間表示に戻ります。
- 保留中にキャッチホン・ディスプレイを受信した場合も、同じ表示が出ます。保留解除して約20秒後に通話時間表示に戻ります。

ご注意
- キャッチホン・ディスプレイで表示された相手が、おことわり登録してある相手でも、おことわり動作は行いません。
- キャッチホンの呼び出し音がしていないときに押すと通話が切れてしまいます。

キャッチホンを受ける（キャッチボタン）



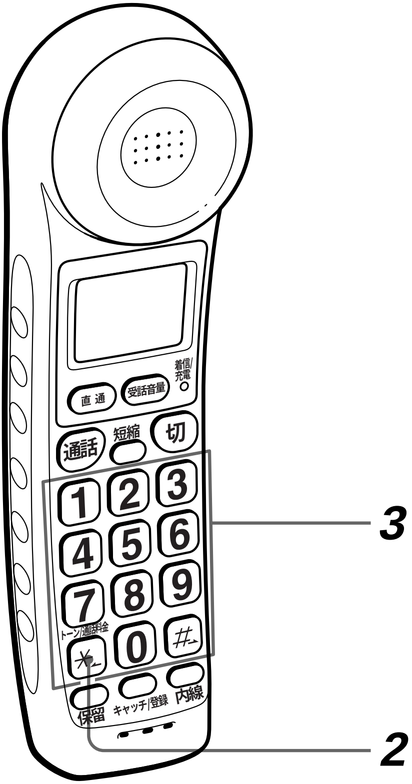
キャッチボタンは、NTTの通話中着信サービス「キャッチホン」を利用するためのボタンです。
「キャッチホン」を利用するためには、NTT**との契約が必要です。お近くの**NTT**支店、営業所または局番なしの**116**番にお申し込みください。**

1 **キャッチホンの呼び出し音がしたら、（キャッチ/登録）を押す。**
あとからかかってきた電話に出られます。

2 **もとの通話に戻るには、もう一度（キャッチ/登録）を押す。**

ご注意
キャッチホンの呼び出し音がしていないときに（キャッチ/登録）を押すと通話が切れてしまいます。

プッシュホンサービスを利用する(トーンボタン)



ダイヤル回線でも、預金残高照会や航空券の予約などのプッシュホンサービスをご利用になれます。
プッシュ回線の場合はこの操作は必要ありません。

1 **サービス機関に電話をかける。**

2 **ダイヤル回線の場合：電話がつながったら(＊・)(トーン/通話料金）を押す。**
プッシュホン信号に切り換わります。
プッシュ回線の場合：この操作は必要ありません。

3 **相手の指示に従ってダイヤルボタンを押す。**

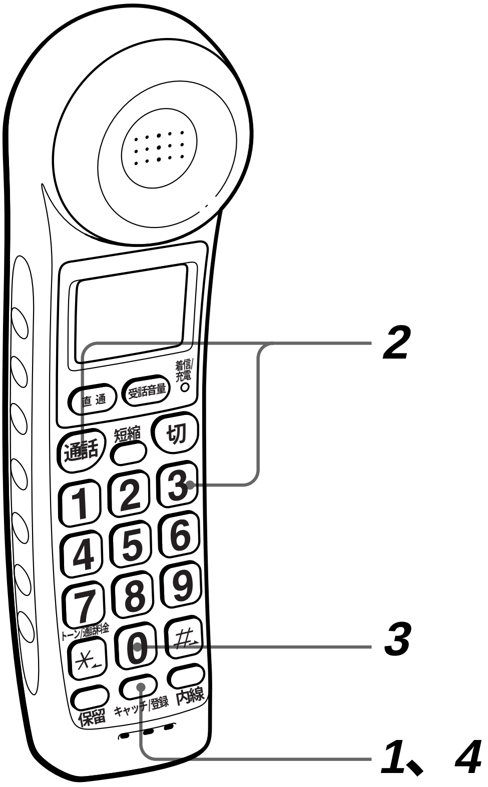
ちょっと一言

(＊・)(トーン/通話料金）は一度押すと通話を切るまで働きます。ダイヤルボタンを押すたびに押す必要はありません。

ご注意

(＊・)(トーン/通話料金）を使っても、サービスを受けられない場合もあります。詳しくは各サービス機関にお問い合わせください。

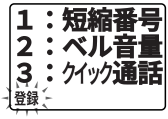
クイック通話の設定を変える



便利な使いかた

本機は(通 話)を押さなくても充電台から持ち上げるだけで通話ができるようになっています(クイック通話「設定」)。クイック通話の設定を解除することもできます。

1　通話を切った状態で、(キャッチ/登録)を押す。



2　(通 話)または(3)を押す。



3　(0)（解除）を押す。



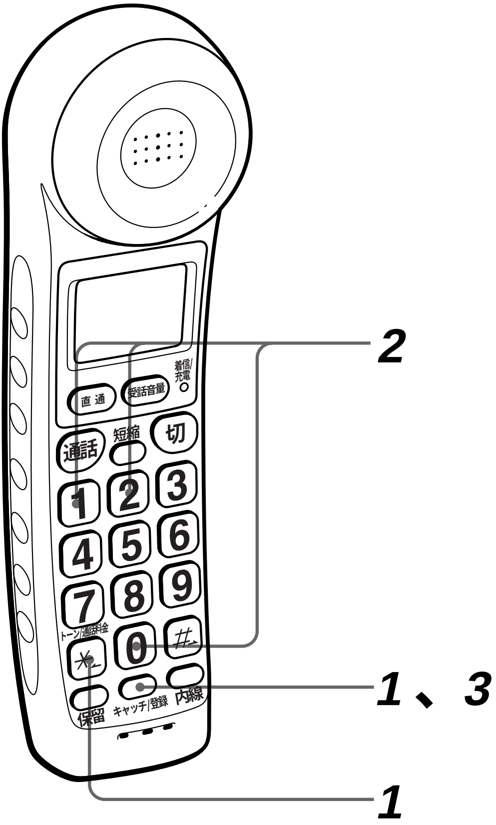
4　(キャッチ/登録)を押す。

確認のために、「ピー」と鳴ります。

クイック通話機能に戻すには

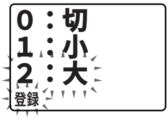
上記の手順3で(1)(設定)を押します。
(キャッチ/登録)を押すと確認のために、、「ピー」と鳴ります。

ベル音量を調節する



ベル音量大、ベル音量小、ベル音「切」の３つから選びます。

1　通話を切った状態で（キャッチ/登録）（＊）と押す。



2　（0）（切）（1）（小）（2）（大）のうちひとつを押す。

選んだ音量でベルが鳴ります。



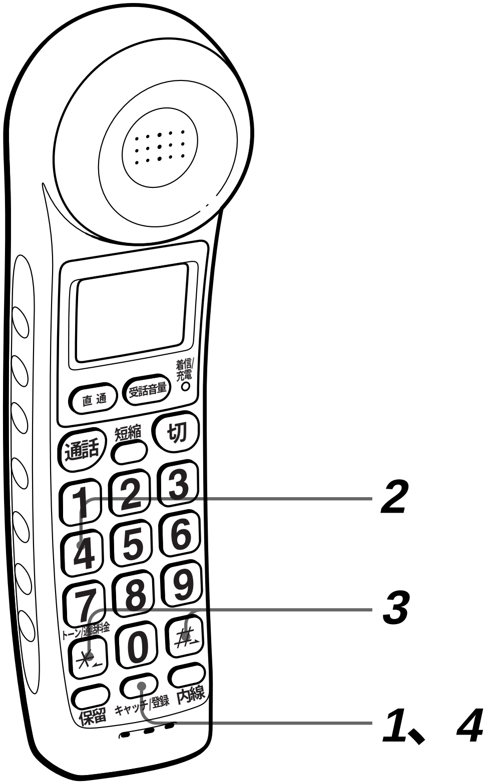
3　（キャッチ/登録）を押す。

確認のために、「ピー」と鳴ります。

ちょっと一言

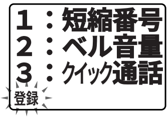
- 「切」ではベルが鳴りませんが、着信／充電ランプなどの点滅で、電話がかかってきたことが分かります。
- お買い上げ時は、「大」になっています。
- 手順1で（＊）の代わりに（2）を押すこともできます。
- 内線通話のベル音量は「切」になっていても「小」で鳴ります。

表示窓のコントラストを調整する

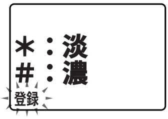


周囲の明るさや好みによって、表示窓のコントラストを調整することができます。

1　通話を切った状態で、（キャッチ/登録）を押す。



2　（4）を押す。



3　（＊）または（＃）押して、表示窓のコントラストを調整する。

（＊）を押すごとにコントラストは淡くなり、（＃）を押すごとにコントラストは濃くなります。

4　（キャッチ/登録）を押す。

確認のために、「ピー」と鳴ります。

ちょっと一言

お買い上げ時のコントラストはほぼ中央になっています。

ドアホンの呼び出しに答える

SPP-G600PGをお使いのかたは、ドアホン（別売り）をつなぐと、本機でもドアホンの呼び出しを受けることができます。詳しくは親機の取扱説明書をご覧ください。

通話料金を確認する

SPP-C300、C300PG、C303、C500、C500PG、C700、C700PG、G600PG、JC50Y、JC50YPGをお使いのかたは、α-ALPHA5Liteを利用して電話をかけたとき、また国際電話（DDI「0078」）を利用して電話をかけたときは、通話を終えたあとに、通話料金の目安をお知らせします。詳しくは親機の取扱説明書をご覧ください。

正しくお使いいただくために

取り扱いについて

- 子機の内部を改造することは法律で禁じられています。
- コードレス電話機は、親機と子機の間で電波を使って交信します。無線機を使用している場所や放送局の近くなどでは電波障害を受けることがあります。
- この子機は国内用です。海外ではお使いになれません。

電源について

- 充電台はAC 100Vで動作します。電源コードを家庭用電源コンセント（AC 100V）につないでお使いください。
- 電源コードをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、必ず電源プラグを持って抜いてください。またコードを傷つけないように注意してください。

お手入れについて

キャビネットのクリーニング

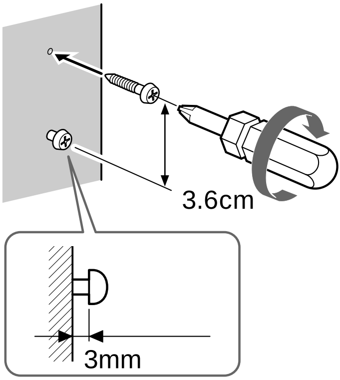
柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤液を水でうすめたもので湿らせた布で拭いたあと、から拭きします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

充電台を壁に取り付ける

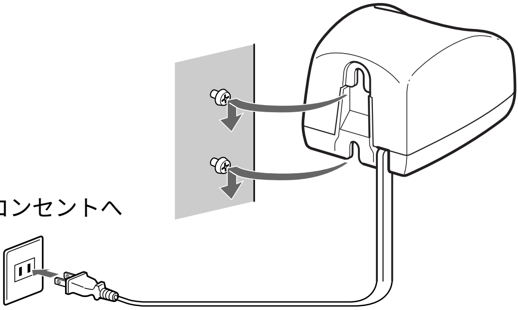
- 家庭用電源コンセントにつなぐことができる場所を選んでください。
- 壁に充電台と本機の重みがかかるので、しっかりした壁を選んで取り付けてください。

1 ネジを壁に取り付ける。

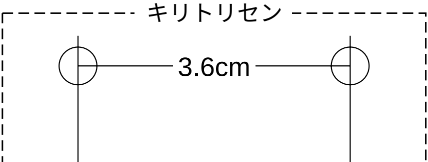
下記の充電台用型紙をお使いください。



2 充電台をかける。



充電台用型紙



故障かな？と思ったら

こんなときは…？	もう一度お確かめください…	参照ページ
ベルが鳴らない。	• 他の子機を優先着信に設定していませんか？その子機を子機プライベート着信に設定していませんか？	お手持ちの取扱説明書
呼び出し音声が出ない。	• ご使用の親機の「名のってる」表示が消灯していませんか？	お手持ちの取扱説明書

あわせて、お手持ちの電話機に付属の取扱説明書もご覧ください。

主な仕様

機器名	SPP-HG600
付属品	バッテリーパック（充電式ニカド電池） BP-T50（1）* 充電台（1）* 子機用ナンバーラベル（1）* 販売店の皆様へ（1）* 充電台壁かけ用ネジ（2） 取扱説明書（1） 保証書（1） ソニーご相談窓口のご案内（1） * IDコードの登録に必要です。 販売店にお持ちください。
電源	バッテリーパック（充電式ニカド電池） （BP-T50、DC2.4V、600mAh、 Ni-Cd）
充電時間	約10時間
バッテリーの使用可能時間	待ち受け時：約240時間（約10日間） 連続通話時：約6時間
最大外形寸法	約56×189×61mm（幅/高さ/奥行き）
質量	約200g（付属のバッテリーを含む）

充電台

電源	AC100V
最大外形寸法	約67×61×99mm（幅/高さ/奥行き）
質量	約150g

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

正常な使用状態で本製品に故障が生じた場合、当社は本製品の保証書に定められた条件に従って修理をいたします。ただし、本製品の故障、誤動作または不具合により、録音、通話などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書およびお手持ちの電話機の取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、または、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

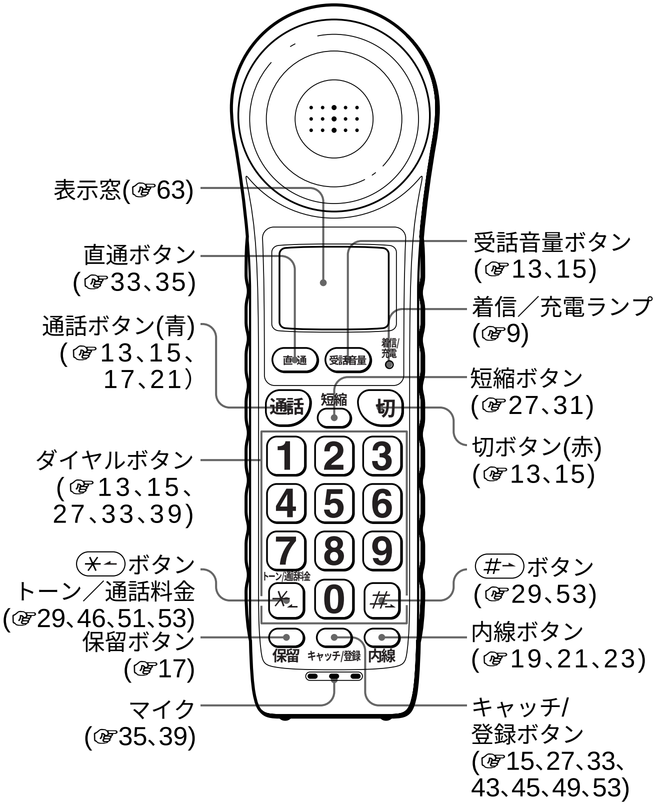
部品の保有期間について
当社では、電話機の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低7年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては、修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

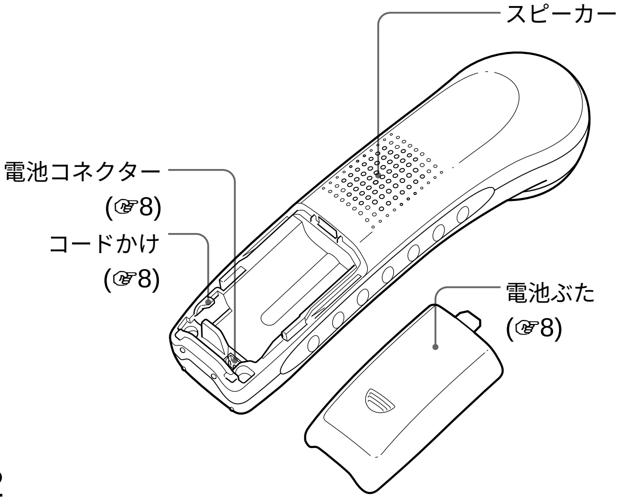
ご相談になるときは次のことをお知らせください。
- 型名：SPP-HG600
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

アフターサービスを依頼するときは
必ず親機とすべての子機・バッテリー・充電台をお持ちください。すべてそろっていないと修理できないことがあります。

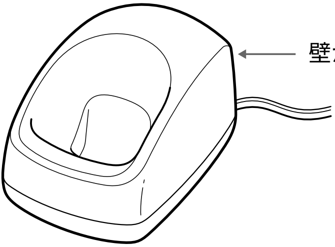
各部の名前

各部の説明は（　）内のページをご覧ください



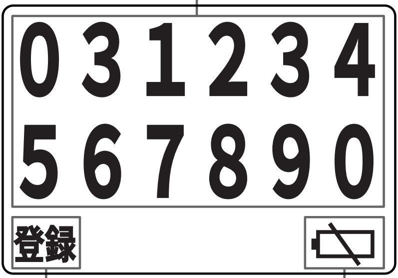


充電台



表示窓

次の表示が出ます。
- 登録メニュー表示
- 操作メッセージ
- ダイヤルしている電話番号
- おおよその通話時間
- 通話料金*
- 登録された電話番号
- 内線・取り次ぎ情報
- 自己診断表示



登録操作中に点灯

バッテリーが消耗したときに点灯(☞10)

* 通話料金はSPP-C300、C300PG、C303、C500、C500PG、C700、C700PG、G600PG、JC50Y、JC50YPGをお使いの場合のみ表示されます。

保証期間中のお取り扱いと技術的なお問い合わせは
テクニカルインフォメーションセンターへ
• 0120-51-7411

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
● ナビダイヤル………………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は…… 03-5448-3311
● Fax …………………………………… 0466-31-2595

受付時間：
月～金
9:00～20:00
土・日・祝日
9:00～17:00

Printed in Japan